

日本学術会議 天文学・宇宙物理学分科会資料

# 日本の光赤外研究分野が推進する 中規模将来計画

光学赤外線天文連絡会  
2011年8月15日

# 日本の光赤外線研究分野の将来計画

## (地上計画)

**中規模計画**: 対象を比較的特化した先鋭的で特色のある研究、  
大学を中心とする教育・人材育成など  
基盤形成を担う研究

京都大学 3.8m 新技術望遠鏡計画 (京都大,他)

東大アタカマ天文台(TAO)計画 (東京大)

Prime Focus Spectrograph 計画 (東京大,NAOJ)

すばる望遠鏡次世代補償光学システム計画

(NAOJ、東北大)

地球型系外惑星と生命の探査計画 (NAOJ、他)

**大型計画**: 大学共同利用機関である国立天文台を中心に  
世界最大級・最先端の望遠鏡・観測装置を建設。

Thirty Meter Telescope (TMT) 計画

(学術会議 マスタープラン)

# 1. 地上望遠鏡による研究計画

- 計画・開発段階
- 建設・製作段階 (予定・希望を含む)
- 実行段階 (予定・希望を含む)

2010

2015

2020

## 大学を中心とする望遠鏡計画(基幹大学における中大型望遠鏡計画)

・京都大学 3.8m 望遠鏡計画

国立天文台岡山観測所 188cm 共同利用の見直し

1m mini-TAO

・東京大学アタカマ天文台計画(銀河進化、惑星形成)

## すばる望遠鏡 様々な分野の汎用研究 + 目的を明確にする先鋭的な戦略研究

HiCIAO, FMOS  
による戦略観測

HSC による戦略観測

次期装置

・Prime Focus Spectrograph (暗黒エネルギー、銀河進化)

・次世代 AO システム (銀河形成・進化)

・地球型系外惑星探査(すばる、TMT 装置開発)

IRD

TMT SEIT

地上超大型望遠鏡計画 (TMT計画)

# 日本の光赤外線研究分野の将来計画

## (スペース計画)

### JAXA ISAS 小型衛星計画:

ISAS 小型衛星専門委員会WG が設置されている計画

小型 JASMINE 計画 (小型科学衛星WG)

100億円以下の規模の計画に相当

### JAXA ISAS 中型・大型衛星計画:

ISAS 理学委員会 WG が設置されている計画および

プリプロジェクトとして認定されている計画

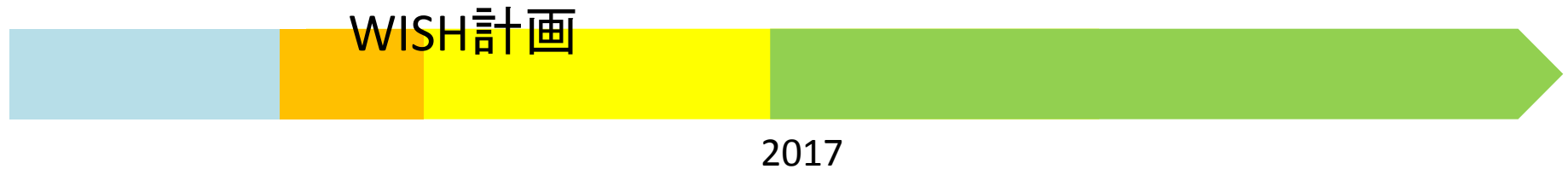
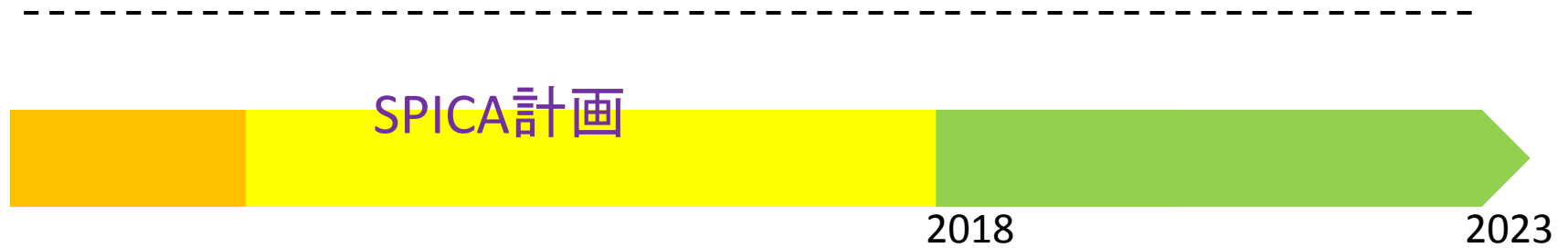
SPICA 計画 (プリプロジェクト 学術会議マスタープラン)

WISH 計画 (中大型プロジェクトWG)

JTPF 計画 (国際協力対応WG)

## 2. スペースミッション研究計画

- WG 段階
- プリプロジェクト段階 (予定・希望を含む)
- 建設・製作段階 (予定・希望を含む)
- 実行段階 (予定・希望を含む)



# 日本学術会議

## 天文学・宇宙物理学分科会への期待

- 光赤天連では、シンポジウム、ワークショップを通じて、強い科学的目的意識に裏付けられた将来計画についての議論を真剣に行っています。
- 最先端大型計画の推進と並び、先鋭的で特色のある研究の推進や大学の基盤強化と活性化など中規模計画の推進も光赤天連の最も重要な活動指針のひとつです。
- 光赤天連では、2005年に声明を発するなど、基盤強化・活性化のための大学望遠鏡計画の推進を強く支持しています。
- 学術会議分科会におかれては、コミュニティにおける真剣な議論を密に共有し、これら計画の推進を支持していただくことを強く期待します。

## 補足: 光赤天連における議論のタイムライン

6月下旬~7月初旬	運営委員会において議論(電子メール)
7月11日	光赤天連会委員に推薦計画提案の案内
7月末	提案とりまとめ
8月8日	とりまとめ結果と学術会議分科会への 報告案を光赤天連に回覧、意見募集
8月15日	学術会議分科会に報告
9月6-7日	光赤天連シンポジウム
9月21日	光赤天連総会(学会)

すでに9月のシンポジウム、総会のスケジュールは決まっておりましたので、今回の議論について、会員が広く参集して直接議論する最初の機会が、これら9月のシンポジウム、総会となっています。これらの機会における議論のとりまとめについては、適宜、学術会議分科会にも報告させていただきたい所存です。  
(運営委員長)